## 金津創作の森通信

vol.325

アートドキュメント 2023

# 「井口雄介展 Site-Sight-Scape」

開館時間 / 10:00 ~ 17:00( 最終入場 16:30) 休館日 / 月曜日 会場 / 美術館アートコアミュージアムー1・ギャラリー・野外 観覧料 / 一般 600 円 (400 円)、65 歳以上・障害者 300 円、

高校生以下・障害者の介護者(当該障害者1人につき1人)無料 ※()内は20人以上の団体料金

## 体験型展覧会

4月22日(土)開幕





JBeSCAPEJ (2012) ©Yusuke Iguchi photo : Kugahiro Kawamoto



「KALEIDO-SCAPE」 (2016) ©Yusuke Iguchi photo : Kugahiro Kawamoto

アートドキュメントシリーズ 26 回目は、現代美術作家 井口雄介氏を招待し、主に「体験型」でスケール感のあるインスタレーションアートをご紹介します。本展では、鑑賞者自身が巨大な万華鏡を動かして風景を変化させる作品「KALEIDO-SCAPE」や日常生活にあるものをキューブ型に見立て、森の自然と一体となって構成された作品「CUBeSCAPE」など、森のロケーションで作品を体感できる展示空間を創出します。作品に参加することによって生まれる新しい風景との出会いをお楽しみください。

会期中は、対談や万華鏡のワークショップも開催します。

森のアートフェスタ

#### けった。 ゆうすけ 井口 雄介 - 現代美術作家

1985 年 カナダ オンタリオ州生まれ

2013 年 武蔵野美術大学大学院博士後期課程造形研究科作品制作研究領域修了 博士 (造形)

[主な展示歴]: 六本木アートナイト 2022「KALEIDOSCAPE」、第 29回 UBE ピェンナーレ「SKY UNDULATION」(2022)、2019年「第 21回岡本太郎現代芸術賞展」、「松戸アートピクニック 2019」、2018年個展「Hello New World ~いつもの世界を新しく」、2017年六甲ミーツ・アート 2017 芸術散歩」招聘作家[主な受賞歴]: 2016年「グランシップアートコンペ」グランシップ賞、2012年「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2012」公募大賞 奨励賞、2011年「MMM みなとメディアミュージアム」大賞 [ウェブサイト]: www.yusukeiguchi.com

#### 3年ぶりに飲食スペースを設置!

工房前にもキッチンカーが並びます

5月13日生・14日目

9:30~16:00(雨天開催)

会場:美術館アートコア周辺、創作工房、ガラス工房 全国から集まるクラフト作家や、魅力的な作品との出会いにあ ふれた2日間!おいしい食のブースが並ぶ「森のキッチン」や、 各工房でのクラフト体験など、いろいろな交流を楽しみましょう。





#### カフェ・レストラン&ショップ ニューオープン!

Foresta Pinoli (フォレスタ・ピノリ) TEL. 73-4141

- ●月曜休館(祝日の場合開館、翌平日休館)
- ●(公財) 金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800





### ご寄付ありがとうございます

◆3月7日(火) 細呂木公民館



◆3月15日(水) 市役所



近藤建設株式会社から地元の公民館活動に役立ててもらいたいと、インクジェットプリンタなど事務用品を寄付していただきました。

また、株式会社日本旅行から二次交通の充実に役立ててもらいたいと、電動アシスト自転車と電動キックボード合計 21 台を寄付していただきました。4月から、アフレアとあわら湯のまち駅、道の駅「蓮如の里あわら」で貸し出しを行います。

## 内閣総理大臣賞を受賞

◆3月20日(月) 福井県理容美容専門学校



あわら市出身の江口昌仁さんが「第74回全国理容競技大会 第3部ワールドヘア in Japan2022【D's】」で優勝し、内閣総理大臣賞を受賞しました。

この日は、江口さんによる優勝作品を再現したヘアショーが行われ、関係者や学生たちが参加しました。親子三世代で理容業を営む江口さんは、現在、大阪で修業をしており「三人並んで仕事ができるよう頑張りたい」と話していました。

まちかど graffiti では、広報 係が取材した"あわらの話題" をお届けします!

※ 新型コロナウイルス感染症防止 対策を行った上で、取材しています。



## あわらの宝を道の駅に

◆3月10日(金) 細呂木小学校



4月22日にオープンする道の駅「蓮如の里あわら」で販売される文房具のイラストに、児童が描いた絵が採用されました。この企画は道の駅の駅長の大俵美穂さんが、道の駅を親しみあるものにしたいと考えたもので、メモ帳やポチ袋、ミニレター、一筆箋の4種類が用意されています。

「あわらのたから」をテーマに児童からイラスト案を募集し、1~6年生まで86点が寄せられました。採用された絵は、赤手ガニ、風車、越のルビー、北陸新幹線です。描いた児童は「絵を描くことが好きなので、採用されてうれしい」と笑顔で話してくれました。

## あわら市産のおいしいワイン

◆3月21日(祝・火) 美松



「ふくいワインカレッジ」の修了生が作った赤ワインの完成を祝い「アフタヌーン和韻会」が開催されました。このワインは、あわら市で採れたぶどうを100%使用し、県内で醸造されています。参加した人は「とても飲みやすいので、ワイン好きはもちろん、苦手な人にもおすすめできる」と話していました。

ワインは 750ml と 375ml のそれぞれ 1,000 本用意しており、あわらベルジェで販売しています。

13